


一般質問通告書

令和8年第2回定例会において、下記の事項について一般質問を行いたいの
で会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和8年5月20日

議員 浅井まゆみ 
会派名 海津市議会公明党

海津市議会議長様

受領番号 第5号

受領日時 8年5月20日 10:50

要旨 バスの運行安全管理体制について

質問相手 市長・教育長

要旨 低出生体重児（リトルベビー）の支援について

質問相手 市長



質 問 内 容

バスの運行安全管理体制について

去る5月、磐越自動車道において高校の部活動遠征中のマイクロバスで、尊
い命が失われるという痛ましい事故が発生しました。この事故では、運行体制の
不透明さや安全管理の欠如が大きな要因として指摘されています。

本市においても、学校行事、市民の研修、また我々議会の視察など、市のバス
を利用する機会は多々あります。しかし、全国的な運転手不足の影響もあり、現
場では高齢の運転手が業務を支えている実態があり、市民からも不安の声が寄
せられています。コミュニティバスやスクールバスの運行においても同様です。

加齢に伴う視力や反射神経の変化は避けられない現実であり、市としてどの
ように運転手の健康状態を把握し、事故を未然に防ぐ体制を構築しているのか。

今回の事故を教訓に、本市の安全管理体制を抜本的に点検・強化すべきと考え、
以下質問いたします。

- ① 小中学校の部活動や校外学習におけるバスの利用状況、及びスクールバスの
運行状況について詳細を教えてください。
- ② 本市のバス運行を支える運転手の皆様には日々感謝しておりますが、一方で
加齢に伴う身体機能の変化は避けられません。
市が運行する（委託分を含む）バス運転手の年齢構成（最高齢、平均年齢、
65歳以上の割合）はどのようになっていますか。

- ③ 長距離遠征等において、運転手一人に負担を集中させないための交代要員の確保や、添乗員による二重チェック体制の強化について、今回の事故を受けて検討している対策、特に学校行事や市民団体が利用する際、出発前の点呼や走行中の運転手の様子を客観的に確認する体制は整っているか。
- ④ 加齢に伴う身体機能変化への対応策として、緑ナンバーのバス、トラック、タクシーなどの事業者は運転手に65歳以上及び3年に1度は法律で適性診断を実施することが義務付けられていますが、本市でもこの適性診断を実施してはいかがでしょうか。
- ⑤ 運転手の疲労度や眠気を検知するセンサー、あるいは衝突被害軽減ブレーキ（AEBS）等の安全運転支援システムを搭載した車両の導入を検討してはどうでしょうか。

低出生体重児（リトルベビー）の支援について

我が国では、出生時の体重が2,500グラム未満の低出生体重児が、約10人に1人の割合で生まれています。特に、医療的なケアや継続的な支援が必要とされる1,500グラム未満の低出生体重児にとっては、感染症や合併症等のリスクを減らすため、出産後すぐに母乳を与えることが有効とされています。

低出生体重のお子様を出産されたお母さん達は、3時間おきの搾乳を勧められます。しかし搾乳器や採った母乳の保管のための冷凍母乳パックは、生まれた全ての赤ちゃんが使うわけではないので購入価格は高価になります。それでも必ず必要なものであり、赤ちゃんの状態により数ヶ月間使用が続くことがあります。特に母乳パックは使い捨てであるため、毎日使用すればするほど費用が増えていきます。搾乳器も衛生面や機能面を考えると、適切なものを使用する必要があります。購入やレンタルに費用がかかります。赤ちゃんの入院や通院、交通費、生活費なども重なる中で、これらの費用は母親や家族にとって大きな負担となります。経済的な心配があると、母乳で育てたい、という気持ちがあっても難しくなることもあります。

そのような状況の中で、2026年4月より鹿児島県日置市で、低出生体重児（リトルベビー）の母親を対象として、搾乳器や冷凍母乳パック購入への公的補助が開始されることとなりました。

リトルベビースークル全国ネットワークによると、自治体によるこうした消耗品・備品への直接助成は全国初の取り組みとなるということです。

自治体が搾乳器と母乳パックの費用を補助することは、非常に意義のある支援です。経済的な負担が軽減されることで、母親は安心して搾乳や母乳育児に取り組むことができ、赤ちゃんのために必要なケアに集中することができます。

また、「地域が子育てを支えてくれている」という実感は、母親の孤立感を和らげ、精神的な支えにもなります。特に初めての出産や早産などで不安を抱える家庭にとって、このような支援は大きな安心につながります。

母乳パックと搾乳器の補助は一見小さな制度のように見えますが、実際には母親の安心、赤ちゃんの健康、そして家族の生活を支える大きな力となる重要な支援です。

そこで伺います。

- ① 本市の近年の低出生体重児の出生数はどのくらいか。
- ② 地域全体で子育てを支える社会を実現するためにも、本市においても、搾乳器や冷凍母乳パック購入への助成制度を導入してはいかがでしょうか。